

# 佐賀県看護協会 災害支援ナース大募集！

佐賀県災害支援ナース  
**目標100名**  
R3.6.30現在 60名

災害支援ナース登録者数

北部地区：17名

東部地区：2名

中部地区：19名

西部地区：10名

南部地区：13名



## 災害支援ナースとは

看護職能団体の一員として、被災地において3泊4日の自己完結型の看護活動を行います

## 活動内容

看護職の交代要員や被災者の健康を維持できるように医療ケア・自立支援・心のケアで被災者を支えます

活動場所 \* 病院・施設 \* 避難所等

## 災害支援ナースになるには

- \* 佐賀県看護協会会員であること
- \* 保健師・助産師・看護師の実務経験が5年以上あること
- \* 日本看護協会開催の災害看護の基礎研修を修了していること
- \* 所属施設長の承諾を得ていること

### 【災害時支援の対応区分】

レベル1：被災県看護協会のみで看護支援活動が可能な場合

レベル2（近隣支援対応）：被災県の近隣県看護協会からの支援が必要な場合

レベル3（広域支援対応）：被災県・近隣県を含む全国の看護協会から支援が必要で活動の長期化が見込まれる場合

### ～佐賀豪雨災害～ レベル1

初めての県内派遣、避難所で夜間体制の支援活動を行いました。隣町でノロウイルス感染症の発生があり、感染対策の見直し手指消毒の指導等を行いました。生活の基盤を失った事で将来の不安が大きく、心のケアチームと連携を図り、継続的なケアに努めました。被災者の気持ちや心身へ及ぼす影響を理解し、関わり方を意識しながらの心のケアが重要だと感じました。



### ～東日本大震災～ レベル3

甚大かつ広域にわたる大災害であり、看護協会としても初の全国派遣でした。佐賀県看護協会からは3名の派遣。ライフラインが全滅の中、急病人への対応、生活環境や衛生状態の把握と改善、感染症拡大の防止を手探りで、出来る事を繋げていきました。「人を助けるのは人」「看護の原点」を実感した派遣でした。



### ～熊本地震～ レベル2

近隣県看護協会としての派遣。派遣場所の近隣でノロウイルスやインフルエンザが発生したため保健師と共にトイレの使用状況の確認、手指消毒の指導を行いました。菓子パンの配給が続き、糖尿病など食事療法が必要な方は栄養サポートチームへ繋げ、また、車中泊も多くエコノミークラス症候群予防のためにJRAT(リハビリ)と連携して運動や弾性ストッキングの着用指導を行いました。多職種連携・協働で柔軟な対応力が必要である事を感じました。



あなたの支援を待っている人がいます！